

木葉小便り

令和6年8月7日(水)発行

文責 校長 吉野 新吾



朝のラジオ体操

“夏休み”いかがおすごしてでしょうか？

夏休みに入って2週間が過ぎました。1週目は、揚区の子供たちのラジオ体操に参加させていただきました。2週目は、6年生と一緒に台湾の小学校との交流に参加させていただきました。



英語で交流(台湾)



水餃子作りで交流(台湾)

夏休みも中盤になります。事故等に気をつけ、夏休みにしかできないことにチャレンジしてほしいと思っています。



できるようになるから おもしろい ~夏休み水泳教室~

「できなかったこと」を「できるようにする」ため、7月22~24日の3日間(9:00~10:00)水泳教室を実施しました。低学年は水に入ることを苦手としている子、高学年は25mを泳げない子を集め、職員で力を合わせて指導しました。少人数指導で子供たちは、上達を見せました。目標を達成して、本人、周りの子供たち、職員、保護者が喜ぶ姿に感動がありました。

「できないことができるようになるから おもしろい!」と、ある先生が言っていました。できたときの感動があるからです。子供たちも頑張りました。しかし、何よりもこの取組に協力してくれた先生方に感謝です。いい夏休みのスタートとなりました。



「けのび」から



ビート板を使って



輪を使って



手を添えながら



将来、自分で生きていける力を!

小さな苗にも水を与え過ぎると、恵まれすぎて自分で根を張り水分を吸収する努力を苗が怠り、しっかりとした根を張らず、立派な花には育ちません。このことは子育てにも言えることだと思います。徳川家康は幼少のころ、今川義元の人質になりました。義元は家臣に「この子におごい教育をしてやれ」と言いました。家臣が「おごい教育とはどんなことをするのですか」と聞くと

**「朝から晩まで うまいものを食わせ、冬は暖かくして、夏は涼しく、
何不自由なく物を与える事だ。そうすれば、たいいていの人間はだめになる。」**

と言ったそうです。子育てには、優しさと厳しさのバランスが必要です。



徳川 家康